

6月17日、江蘇省蘇州市において愛知県企業の皆さまを対象に意見交換会を開催いたしました。当日は、会場参加12名、オンライン参加2名、あわせて14名の方々にご参加いただきました。

今回は、「中国労務管理における注意点」をテーマに、PERSOLKELLY Consulting (パーソルケリーコンサルティング) の本多清志氏を講師にお迎えし、中国における最新の労務リスクや実務上の留意点についてご講演いただきました。

講演では、近年増加している残業代請求や社会保険基数の問題、病気休暇への対応、リストラ・解雇時の留意点など、実際の相談事例を交えながら、中国における労務リスクの最新動向について解説いただきました。また、SNSや生成AIの普及により、従業員が法律や過去の事例、各種情報を容易に収集できるようになり、労務トラブルへの対応が以前にも増して難しくなっていることも紹介されました。そのような環境下では、問題が発生してから対応するのではなく、就業規則や残業管理、社会保険の運用などを平時から見直し、リスクに備えておくことの重要性が改めて共有されました。

後半の意見交換会では、定年延長制度や定年後再雇用に関する質問が多く寄せられました。定年後の再雇用については、労働契約を延長する方法と業務委託契約へ切り替える方法の違いや、それぞれの留意点について議論が行われました。また、女性従業員の定年年齢についても、管理職か否かによって取扱いが異なることから、社内規程や就業規則で管理職の範囲を明確にしておくことの必要性が共有されました。

そのほか、就業規則の改定手続きや、防犯カメラ映像の利用、SNSによる情報漏えいへの対応など各社が日頃抱えている実務上の課題についても活発な意見交換が行われました。さらに、社会保険基数については、税務局への徴収一元化に伴い、実際の給与との乖離が把握されやすくなっており、当局から是正を求められる事例が増えているとの情報も共有されました。

今回の意見交換会では、中国における労務管理を取り巻く環境が大きく変化していることを改めて認識するとともに、制度やルールを定期的に見直し、平時から適切な労務管理体制を整備しておくことの重要性を参加者の皆さまと共有する機会となりました。

今後も、現地企業の皆さまの実務に役立つテーマを取り上げながら、情報共有および意見交換の場を継続してまいります。

---

私たち愛知県江蘇省サポートデスクでは、現地で事業展開をされている愛知県企業の皆さまにとって有益な情報をお届けするとともに、企業同士のつながりや情報交換の機会を広げていけるよう努めてまいります。今後も、皆さまの課題や関心に寄り添った情報提供や交流の場づくりを進めてまいりますので、ぜひご活用いただければ幸いです。